

トタン柵 設置のポイント

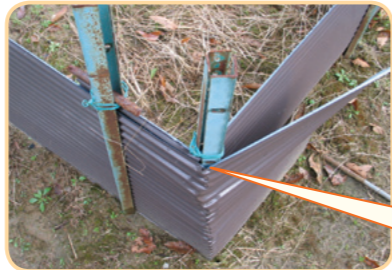
トタン柵の役割はイノシシに中の作物を見せない「目隠し効果」。したがって設置にあたっては、地際や角にすき間をつくらぬのが最も重要なポイントになります。



5~6cm程度開いているとイノシシはまず鼻を入れて持ち上げようとする。地際はぴったりふさいでおきたい



持ち上げられぬよう釘でしっかり固定



トタンを重ねて角にもすき間をつくらぬ



傾斜のあるところもすき間をつくらぬ



排水などの溝もきっちりふさいでおく

柵の上部からの突破はネットで防ぐ

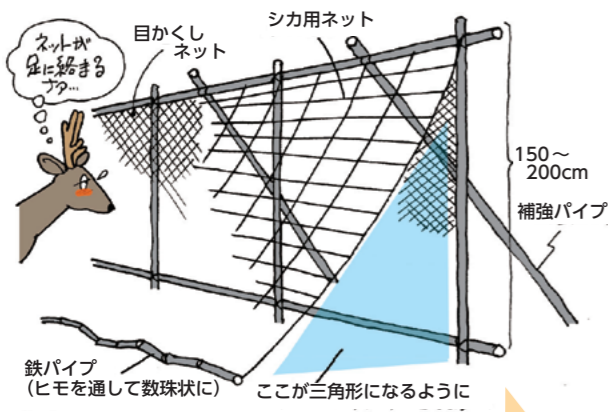
柵のくぐり抜けを防ぐと、多くの獣は柵の上部からの突破を試みます。対策としては、ネットで踏み切り位置を邪魔する、登りづらくさせるなどの工夫があります。



ネット柵 設置のポイント

強度には問題があるものの、足が絡まりやすいネットをシカはたいへん嫌がります。その効果を持続させるには、ネットをシカ側（外側）へ斜めに垂らして張ることがポイントです。

シカ用ネット柵の設置方法



イノシシ用ネット柵の設置方法



イノシシの場合、柵から外1mくらいの幅でネットを斜めに垂らすと、踏切位置が遠くなり、飛び越えを防止することができます。

ここがコツ

風が吹いたり、シカが触ったりすると、真下に垂れ下がってしまうので、ネットの接地面に鉄パイプなどでおもりをつけるとよいでしょう。

簡易猿害防止柵「猿落君」

脚立がいらぬ、高齢者でもラクに組み立てられるサル用の防護柵。弾力のある曲がるポールにネットが張っており、柵を越えようとする、重みで手前側にビヨーンと柵がしなるので非常に登りづらく、というしかけです。



必要な資材

支柱用鉄パイプ 直径19mm、長さ1.4m前後	横バー用鉄パイプ 直径19mm、長さ5.5m前後	弾性ポール(ダンボール) 長さ2.7m	フックバンド 支柱の固定に使用
配線バンド ネットを支柱やポールに固定する	鉄筋ベグ 柵を地面に固定する	サルよけ用ネット 目合い4.5~5cm	*鉄パイプは廃材で可

防鳥網

- 防除対象となる鳥の種類に合わせて網目の大きさを選ぶこと、隙間を作らないこと、作物から十分に離し、たるませないことが重要。
- スズメ用には20mm目、ヒヨドリ・ムクドリなど中型以上の鳥には30mm目が一般的。

テグスなど

- テグスやひもは、鳥の羽ばたきの邪魔になるよう、着地体制をとる時の高さで羽を広げる幅である1~2m程度の高さで間隔で張り巡らせる。
- 着地後の横からの侵入がある場合は、側面へネット等を補強する。

